

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりが主役の学校を創造し、健康で楽しく安心して過ごせる魅力ある学校づくりに努め、自ら考え進んで行動する子どもを育む。</p> <p>○一人ひとりが自己有用感を育み、他者と協働し、多様な価値観を認め、支え合い、共に学ぶ児童の育成を目指す。</p> <p>○家庭地域との連携を深め、地域の教育力の活用やさまざまな交流により、地域に開かれた特色ある学校づくりに努め、地域（横浜・都筑）や社会に関心を持ち、共に共生してゆく意識を育む。</p>

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<p>① 異学年交流「なかよしペア活動」を通して、思いやりや共感する心を持ち、互いに支え合う態度を育てる。</p> <p>② 音楽会を通して、豊かな感性や情操を養い、表現の喜びを味わいながら自己肯定感を高める。</p> <p>③ 人権週間では発達段階に応じた取組を行い、相手の立場や人権を尊重する大切さを理解し、実践への意欲をもたせる。</p>
担当	学習評価部会

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

児童は恵まれた家庭環境で大切に育てられ、基本的な生活習慣のよさや高い基礎学力を有している。しかし、その半面、コミュニケーション力や責任感、社会性に課題が見られる。また、集団の中で失敗することを恐れ、自分を表現できなかつたり、他者と比較し自分に自信をもてなかつたりする面も見られる。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・全学級で、年間指導計画に沿った授業公開を年1回以上実施する。
- ・自分の思いを伸び伸びと表現し、互いの考え方や感じたことを交流し合うことができる授業づくりを行う。
- ・学校行事、総合的な学習の時間、児童会活動などでの体験活動を充実させて、それを手がかりに道徳的価値の理解を深める。

【項目 人権教育「だれもが」「安心して」「豊かに」互いを認め合える子どもを育成する人権教育

- ・「なかよし活動」では、ペアクラスでのかかわりを日常的に行うことを通して、他者に対する思いやりの気持ちを持ち、協力し合えるようにする。
- ・各学年の人権教育の取組では、「人から学ぶこと」や体験活動を取り入れる。一人ひとりの違いを理解し、認め合うことの大切さを考えられるようにする。